

第32回日本作業行動学会定時社員総会議事録

日本作業行動学会定時社員総会（以下「社員総会」という。）の招集：2022年6月3日（金曜日）

議決手続き：2022年6月6日（月曜日）から2022年6月12日（日曜日）

議決：2022年6月18日（土曜日）16時30分から17時00分

開催場所：群馬県高崎市問屋町1丁目7-1 群馬パース大学

有効会員数：35名

委任状提出および議決権行使：53名

議長：石井良和

書記：二村元気

第一号議案	2021年度活動報告
第二号議案	2021年度決算報告
第三号議案	2022年度活動計画
第四号議案	2022年度予算
第五号議案	論文表彰
第六号議案	人間作業モデル認定セラピスト
第七号議案	研究助成
第八号議案	次年度の学術集会
第九号議案	役員改選

議長・書記解任

第一号議案 2021年度活動報告

1 <社員総会>

WEB上で、2021年5月21日に社員総会の招集、2021年5月28日から2021年6月2日に決議の手続き、2021年6月6日の12時に決議を行った。

2 <学術集会>

2021年6月6日（日曜日）にWEB開催した。

3 <講演会、講習会>

開催はしなかった。

4 <編集委員会・機関誌の発行>

18論文の新規投稿があり、作業行動研究第25巻第1号、同第2号、同第3号、同第4号を発行した。毎号につき機関誌「作業行動研究」を600冊発刊した。

5 <会員>

現在会員数534名（2022年5月18日現在）

6 <運営のための会議等>

2021年4月1日

社員総会の招集と提案内容について審議をした。

2021年4月26日

社員総会の議案事項について審議した。

2021年5月13日

表彰論文、機関誌編集委員の組織体制について審議した。

2021年5月18日

社員総会議案について審議をした。

2021年10月15日

日本作業行動学会研究助成申請の期限延期について審議した。

2022年2月12日

人間作業モデル認定セラピストについて審議した。

7 <事務局>

会員の入退会処理、会費管理、税務管理、機関誌印刷と発送の運営実務を担当した。

→ 以上、異議なく承認された。

第二号議案 2021 年度決算

1 貸借対照表

貸借対照表
(令和4年3月31日現在)

(単位：円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	6,080,515	流動負債	0
現金及び預金	6,080,515	固定負債	0
固定資産	0	負債合計	0
有形固定資産	0	(純資産の部)	
無形固定資産	0	基金	0
投資その他の資産	0	利益剰余金	
		その他利益剰余金	6,080,515
		(うち当期純剰余金)	614,625
		純資産合計	6,080,515
資産合計	6,080,515	負債・純資産合計	6,080,515

2 損益計算書

損益計算書
(自令和3年4月1日 至令和4年3月31日)

(単位：円)

科目	金額	
(経常損益の部)		
経常損益		
事業収益		
会費等収益	2,317,740	
学術集会参加費等収益	184,000	
販売収益	7,000	
	2,508,740	
財務収益		
受取利息	6	
雑収益	14,242	
	14,248	2,522,988
経常費用		
事業費用		
旅費交通費	72,000	
支払助成金	60,000	
印刷製本費	1,341,367	
	1,473,367	
管理費用		
通信費	13,814	
交際費	2,438	
事務委託費	300,950	
消耗品費	6,632	
諸謝金	12,640	
支払手数料	27,522	
	363,996	
財務費用	0	
		1,837,363
経常利益		685,625
(経常外損益の部)		
経常外収益	0	0
経常外費用	0	0
税引前当期純利益		685,625
法人税、住民税及び事業税	71,000	
法人税等調整額	0	71,000
当期純利益		614,625

監事意見書

一般社団法人 日本作業行動学会
会長 石井 良和 殿

意見書作成日 2022 年 5 月 11 日
一般社団法人 日本作業行動学会

監事 岩 瀬 義 昭 印

私は、2021年4月1日から2022年3月31日までの当法人の事業年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

- 1 私は、必要と認めた監査手続きを実施して、財務諸表、領収書等を閲覧調査し、当法人の状況を正しく示しているかどうかについて監査を行いました。
- 2 監査の結果、理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められませんでした。また、財務諸表、領収書等は当法人の状況を正しく示しており、収支状況を適正に表示しているものと認めます。

→ 以上、異議なく承認された。

第三号議案 2022 年度活動計画

1 <社員総会>

WEB上で、2022年6月3日に社員総会の招集を、2022年6月6日から2022年6月12日に決議の手続きを、2022年6月18日の16時30分からハイブリット型バーチャル形式で決議を行う。

2 <学術集会>

第31回日本作業行動学会学術集会（竹原敦大会長、日時：2022年6月18日・19日）を、現地およびオンラインで開催とする。

3 <講演会、講習会>

人間作業モデル関連研修会の開催を検討する。

4 <編集委員会・機関誌の発行>

編集委員から推薦のあった以下の1名を、本人から承諾が得られた場合、編集協力者とする。

宮寺寛子

投稿数を増やすために、機関誌の投稿規定を（旧）から（新）に改定する。

（新）投稿者は筆頭のみ本研究会会員とします。著者の数は5名までとし、それを超える場合は、表紙に『著者数超過理由』を表記ください。編集委員長が例外的採否を判断します。

（旧）投稿者は原則として全員が本研究会会員とします。著者は5名までとし、それ以外は謝辞に含めるようにしてください。

初回投稿時に投稿規定を原稿がある程度満たしているかの簡易チェックを行い、満たされていないものは、投稿者に返却、修正を求める手続きを導入する。

投稿論文の査読、機関誌の発刊、オンライン投稿システムの検討を行う。

機関誌「作業行動研究」第26巻第1号、同2号、同3号、同4号の発行を行う。各巻の発刊部数は600部とする。

5 <会員>

会員の入会を促進する。

6 <運営のための会議>

運営にあたる会議（2022年4月8日、同年4月26日、同年5月23日）を開催する。

7 <事務局>

会の運営の実務を担当する。

→ 以上、異議なく承認された。

第四号議案 2022年度予算

1 2022年度予算案

2022年度（令和4年度）予算案
（自令和4年4月1日 至令和5年3月31日）

（単位：円）

科 目	前年度決算額	当年度予算額	差 額	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①会費収入				
会費等収入	2,317,740	2,317,740	0	前年度実績
学術集会参加費等収入	184,000	500,000	316,000	参加費@5,000×100名で算出
会費収入計	2,501,740	2,817,740	316,000	
②雑収入				
受取利息収入	6	6	0	
販売収益	7,000	10,000	3,000	機関誌販売@1,000
雑収入	14,242	14,000	-242	
雑収入計	21,248	24,006	2,758	
事業活動収入合計	2,522,988	2,841,746	318,758	
2. 事業活動支出				
①事業費支出				
旅費交通費	72,000	220,000	148,000	
通信費	0	11,000	11,000	
会場費	0	0	0	
支払助成金	60,000	460,000	400,000	表彰論文@30,000×2名 研究助成金@200,000×2名
消耗品費	0	20,000	20,000	
諸謝金	12,640	102,201	89,561	
印刷製本費	1,341,367	1,410,000	68,633	
事業費支出計	1,486,007	2,223,201	737,194	
②管理費支出				
通信費	13,814	15,000	1,186	
交際費	2,438	30,000	27,562	
会議費	0	15,000	15,000	
事務委託費	300,950	321,000	20,050	
消耗品費	6,632	6,700	68	
支払手数料	27,522	28,000	478	
管理費支出計	351,356	415,700	64,344	
事業活動支出合計	1,837,363	2,638,901	801,538	
事業活動収支差額	685,625	202,845	-482,780	
II 法人税、住民税及び事業税	71,000	71,000	0	
当期収支差額	614,625	131,845	-482,780	
前期繰越収支差額	5,465,890	6,080,515	614,625	
時期繰越収支差額	6,080,515	6,212,360	131,845	

→ 以上、異議なく承認された。

第五号議案 論文表彰

理事会に一任し、結果は本人に通知するとともに、ホームページ上で発表する。
なお、今回の表彰は、以下の通り、編集委員会の推薦を受けて、理事会で決議された。

【研究論文】

杉山いずみ・他：生活介護事業所における利用者の作業参加～人間作業モデルスクリーニングを用いて～. 25 巻 2 号 p53-61

【事例報告】

鹿田将隆・他：作業同一性質問紙の臨床的有用性の検討―地域在住要支援・要介護高齢者の 3 事例を通して―. 25 巻 1 号 p38-47

→ 以上、異議なく承認された。

第六号議案 人間作業モデル認定セラピスト

理事会に一任し、結果は本人に通知するとともに、ホームページ上で発表する。
なお、第 32 回社員総会で認定を受ける者は以下の会員である。

麓 文太 (函館脳神経外科病院)
渡部 雄太 (大阪保健医療大学)
水野 健 (昭和大学附属烏山病院)

→ 以上、異議なく承認された。

第七号議案 研究助成

理事会に一任し、結果は本人に通知するとともに、ホームページ上で発表する。
2021 年度申請者は丁子雄希氏、佐々木剛氏の 2 名であり、この 2 名の採択が理事会で決議された。

→ 以上、異議なく承認された。

第八号議案 次年度の学術集会

大会長は、川又 寛徳氏とし、福島県立医科大学において開催を計画する。

→ 以上、異議なく承認された。

第九号議案 役員改選

次期役員として、下記の者を候補とすることが理事会で承認された。

石井 良和
岩瀬 義昭 (監事)
鎌田 樹寛
小林 法一
小林 隆司
笹田 哲
鹿田 将隆
篠原 和也
鈴木 憲雄
竹原 敦
谷村 厚子
村田 和香 (五十音順)

→ 以上、異議なく承認された。

以上の通り、相違のないことを証明する。

議事録署名人:

吉岡和哉 

印

議事録署名人:

石井奈智子

